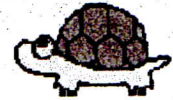


NPOと私

国立市役所企画部長



NPOとのかかわりときっかけ 大沼 信一

私とNPOとの出会いは、平成13年4月から新たな組織としての政策推進室ができたことから始まります。それまでNPOを所管する部署がなく、その必要性を感じながらも対応できなかったことがあります。幸いにも優秀な部下の配置があり、二人三脚で取り組むことになりました。まずNPOそのものがどのようなものであるのか、市内にはどのくらいNPOがあるのか暗中模索からの出発でした。まず考えたのは、NPOが集い協議する場がないことがありました。そのため、店舗・役所の会議室などいろいろ検討しました。また、行政との関わり方もひとつの課題となりました。どこまで関わっていくのか、関わり方はどうしていくのかなどを整理する必要がありました。「行政の下請けではないこと」、「自由な発想、自由な活動をどう活かしていけるのか」、「営利と目的のこと」、「期待することは何なのか」、「活動や意見発表の場をどうするのか」などの課題がありました。そのためには、NPOやそれに類する団体の意見を聴く必要があると考え、「NPO等情報連絡会」を開催し、自由な議論をもらうこととなり、数回に渡り協議をしてきました。その結果市役所1階ロビーに「NPO関連の情報コーナー」を設置したり、「NPO・市民交流会」を実施したり、団体の自由な発想で「活動紹介や意見発表」をしてもらうこととなりました。行政は、あくまで側面的な協力にとどめることとしました。また、常時活動ができるよう「NPO活動支援室」をNPOを運営主体として設置することができました。今後は、NPO団体自身がその活動を主体的に行なうことができるよう、行政も側面から応援していきたいと考えます。「協働の指針」もNPOのご協力により作ることができました。これをさらに今後活用していくことによって、さらに活動の輪が広がることを望みます。

くにたちNPO活動支援室のあゆみ

- ・2001年4月 国立市役所組織改正によりNPO担当の配置
- ・2001年7月 市内NPO法人や市民活動団体へ呼びかけて、第1回のNPO情報連絡会を開催（当初は2ヶ月に1回）
- ・2002年3月 NPO等情報連絡会の中で、活動センター開設に向け検討を始める
- ・2002年5月 市報へ団体紹介コラム(地域をつなぐNPO)の他に市役所ロビーに関連情報コーナーの設置
- ・2002年9月 45団体の参加で「第1回くにたちNPO・市民交流会」を開催(2005年まで交流会として継続)
- ・2002年11月 2003年度(平成15年度)に「くにたちNPO活動センター(仮称)の設置にむけて情報連絡会で検討はじまる
- ・2003年1月 事務局よりセンター管理運営のたたき台案が出される。市と市民の役割について話し合いが4月まで続く
- ・2003年7月 「くにたちNPO活動センター運営委員会準備会(仮称)」を作りその旨情報連絡会へ提案
- ・2004年4月 正式オープン。会員で構成された運営委員会と部会による体制で活動開始
- ・2005年8月 会員を対象にNPO・市民活動団体と市との協働についてのアンケート調査を実施し10月に報告書を作成
- ・2005年11月 報告書などに基づいて支援室から協働の指針づくりなどの要望書を市長に提出
- ・2005年12月 市役所職員との懇談会を行う(テーマ子どもの居場所)
- ・2006年4月 NPO・市民活動団体紹介イベントを開催
- ・2006年4月 懇談会後の具体的事業の一つとして子どもの居場所を目的として駄菓子屋を毎週土曜日開店
- ・2006年8月 要望書に基づき市で「NPO等市民活動団体と国立市による協働推進検討会」を開催
- ・2006年10月 検討会で議論を重ねて「NPO等と国立市による協働推進の指針」が策定される。